

こつおつしやしながら太田さん、そのまま病棟に出て、患者さんのもとに向かつて行かれた。

職員食堂で食べる

午後1時、職員食堂で待ち合わせてランチタイムとなる。

本日のメニューはメインがクリームスパゲティだが太田さんは白ご飯も加えてのダブル主食で頼もしい限りだ。



糖質無制限の頼もしいランチ(笑)

● 食事中も電話がかかってくるんですか？

太田 「ええ、しょっちゅうです(笑)。基本的には食べながら対応します。長くなりそうなときは一旦お切りして折り返しますけど、それが重なると業務がどんどんたまっていくので、なるべくその場で対応しますね」

しばらくす

るとPSW田中さんが隣に座られて情報交換……かと思えば、ここで得られた情報は、太田さんの好物がハンバーグとグラタンで、嫌



仲良くランチの田中さんと太田さん

いなものが銀杏であること。業務上のことは常日頃からしっかりと共有しているからこそ、ランチタイムまで使う必要はないのだろう。

午後のカンファレンス

午後のお仕事は引き続き病棟にて、患者さんとの相談や、ご家族をまじえての入院受け等々。限られた時間をやりくりして奔走してらっしゃることがよく分かる。

時刻4時、担当している患者さんの退院後支援についてのカンファレンスが開催されるというので、同席させていただくことに。

指定された病棟会議室にうかがうと、そこには太田さん以外にも、主治医、受け持ち看護師、区役所職員、弁護士、支援センター職員その他、さまざまな関係者が一堂に会して患者さんを退院後どう支援していくかに関する細やかな打ち合わせが行われていた。

● 退院された後の住まいをどうするか？

金銭管理をどうするか？ どのような社会資源を使うか？ 家族との関わりはどうするか？ などなど、ひとつひとつ各職種からの意見を聞いたうえで、合わせていく光景が印象的なカンファレンスだ。

なお、この日は担当ではなかったけれど、月に5回、グループホームと救急当番で当直勤務を担当しているとの



病棟カンファレンスの光景

こと。当直明けも基本的には朝から通常勤務なので、「その日のカンファレンスは眠気との戦いでもありますね」と苦笑する太田さんだった。

必須アイテム

業務が一段落されたところ

で、いくつか質問してみた。

● PSWの必須アイテムが

あれば見せて

ください。

太田 「まずノ

ートパソコン

は欠かせませ

ん。電子カルテその他、常に参照・入力しま

すから。PHSも必須ですね。通話が多いと

電池が切れてしまつのが悩みです」

● あとはスケジュール帳とボールペン、フリ

クションペンでしょうか。予定をしょっちゅ

う書いたり消したりするので、フリクション

ペンがあると便利なんです」

● ちなみに太田さん、PHSは常にアンテナ

を延ばして使うのがこだわりなんだと

か。

● どうしてですか？

太田 「アンテナを延ばしたほうが、電磁波

が分散されて身体にいいって聞きました。

● あまり言うつと変な人だと思われそうです

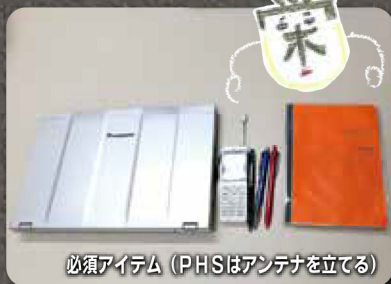
けど(笑)」

● いえいえ、イワシの頭も信心からと言わ

れますし、プラセボ効果は科学的にも実

証されている通り。身体にいいと信じてい

れば、きっとそうなると思います！



必須アイテム (PHSはアンテナを立てる)

お仕事への思い

最後に、お仕事への思いについて伺った。

● このお仕事に就けたきっかけはありますか？

太田 「子どもの頃から祖父母のことが好きだったので、福祉の仕事ができればと考えていたんです。それで大学で学ぶうち、精神科や就労支援の領域にも興味を抱くようになったのがきっかけです」

● お仕事のうえで嬉しいことは何ですか？

太田 「退院を望んでいる患者さんが、いい形で退院していけることですね。入院中はある意味、患者さんの人生が「時的に止まっている状態ですが、それが再び動き始める瞬間に立ち会えることは大きな喜びです」

● そして退院された後も調子よく過ごしていただけるよう、退院前にご自宅を訪問して生活上のアドバイスをしたり、退院後に想定される問題をご本人と家族さんを含めてあらかじめ共有して、今後の対処をすり合わせてたりしています」

● 患者さんに寄り添って退院を支えるプロフェッショナル、太田さん。これからもPHSのアンテナをマックスに立てて、健康パワーで患者さんの支援に邁進してください！

(取材と原稿／臨床心理士・名倉)

取材協力



太田智之 (おおた さとし)